

注3

大学番号：私320

[平成26年度設置]

計画の区分：学部学科設置

注1

認可

西九州大学 子ども学部 心理カウンセリング学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人永原学園

平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

事務局長	キタジマ タダノリ 北島 忠則
総務課長	モクオ タカヒロ 奎尾 隆弘
電話番号	0952-52-4191
（夜間）	0952-52-4191
F A X	0952-52-4194
e-mail	syomu@nisikyu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

子ども学部

＜心理カウンセリング学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	18
7. その他全般的事項	21

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 永原学園

(2) 大学名

西九州大学

(3) 大学の位置

佐賀

神園キャンパス

〒840-0806 佐賀県佐賀市神園3丁目18番15号

神埼キャンパス

〒842-8585 佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フクモト ユウジ) 福元 裕二 (平成20年4月)		
学長	(ムカイ ツネヒロ) 向井 常博 (平成24年4月)		
学部長	(ナガノ ケイコ) 長野 恵子 (平成26年4月)		
学科長等	(ニシムラ ヨシフミ) 西村 喜文 (平成26年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
子ども学部 心理カウンセリング学科 学士(臨床心理学)	4年	40人	— 年次人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人	人	人	人	40人	—人	40人	—人	()	()	1.22 倍	— 倍	
	()	()	()	()	(—)	(—)	(—)	(—)	[]	[]			
志願者数	()	()	()	()	71	—人	97	—人	()	()			
	[]	[]	[]	[]	[—]	[—]	[—]	[—]	[]	[]			
受験者数	()	()	()	()	69	—人	96	—人	()	()			
	[]	[]	[]	[]	[—]	[—]	[—]	[—]	[]	[]			
合格者数	()	()	()	()	68	—人	82	—人	()	()			
	[]	[]	[]	[]	[—]	[—]	[—]	[—]	[]	[]			
B 入学者数	()	()	()	()	48	—人	50	—人	()	()			
	[]	[]	[]	[]	[—]	[—]	[—]	[—]	[]	[]			
入学定員超過率 B/A					1.20		1.25						

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] (-) 48	[-] (-) -	[-] (-) 50	[-] (-) -	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] (-) 47	[-] (-) -	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] (-) 48	[-] (-) -	[-] (-) 97

- (注)
- ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0人	平成25年度	人	人		%
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	48人	1人	平成26年度	1人	0人	就職(1人)	2.1%
			平成27年度	0人	0人		
平成27年度 入学者	50人	0人	平成27年度	0人	0人		0%
合計	98人	1人					1%

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<子ども学部 心理カウンセリング学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	共通基礎科目	基礎演習あすなろう	1通	1				1	2					担当の変更(27) 担当 眞田 英進(教授) 平成26年7月 教員審査済 判定:可	
	実践教養	あすなろう体験Ⅰ(基礎)	1通	1				1	2					担当の変更(27) 担当 眞田 英進(教授) 平成26年7月 教員審査済 判定:可	
		あすなろう体験Ⅱ(実践)	未開講 2通		1				2					履修希望者がいなかったため(27)	
		あすなろう体験Ⅲ(応用実践)	3通		1				2						
	教養教育科目	人間と文化	心理学入門	1,2後		2			1						学期変更(前期を後期に変更) 担当者変更(1名変更) (26) 担当の変更(27) オムニバス 全学共通プログラム変更のため、科目新設(27) 全学共通プログラム変更のため、単位数変更(27) 全学共通プログラム変更のため、科目新設(27)
			現代社会と倫理	1,2前		2							兼1		
			人間論と現代思想	1,2後		2							兼1		
			文学と言語	1,2前		2							兼1		
			生涯学習論	1,2後 1,2前		2							兼2		
			人間と歴史	1,2後		2							兼1		
			脳と認知科学	1,2後		2							兼3		
	人間と社会	人間と社会	異文化理解	1,2前		2							兼1		
			留学準備演習	1,2, 3,4前		1							兼6		
			海外研修	1,2, 3,4通		2							兼1		
			Introduction to Japan and Japanese Culture	1,2前		2							兼5		
	人間と自然	人間と自然	法学	1,2前		2							兼1		
			日本国憲法	1,2後		2							兼1		
			社会学入門	1,2前		2							兼1		
			くらしと経済	1,2前		2							兼1		
			ジェンダー論	3後		2							兼1		
少子高齢化社会と人間			1,2後		2							兼1			
英語	英語	人類学	1,2後		2							兼1			
		生命のしくみ	1,2前		2							兼1			
		生物と環境	1,2後		2							兼1			
		化学入門	1,2前		2							兼1			
		統計学の基礎	1,2前		2							兼1			
		物理学入門	1,2前		2							兼1			
語学	語学	地球環境科学	1,2後		2							兼1			
		総合英語Ⅰ	1後	1								兼1 3			
		総合英語Ⅱ	2後	1								兼1 2 3			
		英語表現Ⅰ	1前	1								兼1 3			
		英語表現Ⅱ	2前	1								兼1 2 3			
		英語会話Ⅰ	1前		1							兼2 4			
		英語会話Ⅱ	1後		1							兼2 4			
		上級英語Ⅰ	3後		1							兼1			
		上級英語Ⅱ	4前		1							兼1			
		第二外国語	第二外国語	ドイツ語(初級)	1前		1							兼1	
ドイツ語(中級)	1後				1							兼1			
フランス語(初級)	1前				1							兼1			
フランス語(中級)	1後				1							兼1			
中国語(初級)	1前				1							兼1			
中国語(中級)	1後				1							兼1			
韓国語(初級)	1前				1							兼1			
韓国語(中級)	1後				1							兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
健康運動学	講義	健康・スポーツ科学	1後	2								兼1	担当の変更(27) 担当の変更(26)	
	実技	フィットネス・スポーツ	1前	1								兼1	担当の変更(27)	
		ウエルネス・スポーツ	2通	1								兼1	担当の変更(27)	
	情報処理	情報処理基礎	1通	2								兼1	担当の変更(26)	
		48 小計(46科目)		12	61 57	0	2	2				兼34 兼28 兼29		
専門教育科目	学部基幹科目	子ども学総論	1前	2				1				兼6 兼7	兼任講師退職により担当の変更(27) 担当者割変更により担当者1名減(26) オムニバス	
	学科基幹科目	心理学概論 児童家庭福祉	1前 1後	2 2			1					兼1		
		特別支援教育総論	1後	2			1	1				兼3	担当 松田 次生(教授) 平成26年7月 教員審査済 判定可(27) 担当 利光 恵(准教授) 平成26年7月 教員審査済 判定可(27) オムニバス 担当者追加(専任1名・兼任3名)(26) 利光 准教授教員審査 平成26年7月審査予定	
		心理カウンセリング概論	2前	2			1							
			小計(5科目)	—	10	0	0	3	2 1	0	0	0	兼10 兼8	
	専門基礎科目	心理学基礎科目	心理学研究法	2前		2		1					兼1	オムニバス
			心理学統計法	3前		2		3						
			心理学実験演習Ⅰ	2前		2		1						
			心理学実験演習Ⅱ	2後		2		1						
			心理学検査法Ⅰ	3前		2		1						
		心理学検査法Ⅱ	3後		2		1							
		カウンセリング基礎演習	1後		1		3							
		小計(7科目)	—	5	8	0	5	1	0	0	0	兼2		
専門基幹科目	学基礎 目連 心 理	学習心理学	2前		2		2						オムニバス	
		知覚心理学	1前		2							兼1		
		認知心理学	1後		2							兼1		
		神経心理学	2後		2							兼1		
	心社会 理学 目 産 業 連 関 連	集団心理学	3前		2								オムニバス	
		対人関係論	3後		2							兼1		
		家族心理学	4後		2		2					兼1		
			コミュニティ心理学	3後		2		1						
		心理学 目 領 域 実 践	臨床心理観察実習	4後		1		2	1					
	発達・ 教育 目 連 関 連	倫理学概論	3前	2									兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	担当 眞田 英進(教授) 平成26年7月 教員審査済 判定可(27) 担当者変更・追加(26) 眞田 英進教授教員審査 平成26年 月審査予定
命の尊厳		1前		2										
現代社会と家族機能		1後		2										
生涯発達心理学Ⅰ(乳幼児期～青年期)		1前		2		1								
生涯発達心理学Ⅱ(成人期～高齢期)		1後		2		1								
乳幼児心理学		3前		2										
教育心理学		2前		2		1								
学校心理学		4前		2		1								
教育相談		3前		2										
教育原論		1後		2			1							
医学 目 連 関 連	知的障害者教育総論	2前		2		1	1							
	視覚障害者教育総論	3前		1		1						兼1 兼1 兼1	担当者変更(26)	
	重複障害者教育総論	3後		1		1								
	発達障害者教育総論	3前		2		1								
医学 目 連 関 連	精神医学Ⅰ	3前		2								兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	担当 眞田 英進(教授) 平成26年7月AC教員審査済 判定可(27) 担当者変更・追加(26) 眞田 英進教授教員審査 平成26年 月審査予定 担当教員追加 オムニバス	
	精神医学Ⅱ	3後		2										
	精神保健学	4前		2		1								
	医療心理学	3前		2		1								
	知的障害者の心理・生理・病理	2前		2		1								
医学 目 連 関 連	肢体不自由者の心理・生理・病理	2後		2			1				兼2 兼4	担当者変更(26) オムニバス		
	病弱者の心理・生理・病理	2後		2			1				兼2 兼4	担当者変更(26) オムニバス		
	聴覚障害者の言語障害指導	3前		1							兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
地域協働関連科目	家庭支援論	3前		2							兼1		
	学校ソーシャルワーク	3前		2							兼1		
	社会福祉学	2後		2							兼1		
	法律学概論	3後		2							兼1		
	政治学概論	2後		2							兼1		
	経済学概論	3後		2							兼1		
	宗教学概論	2後		2							兼1		
	社会学概論	1後		2							兼1		
小計(39科目)		—	2	72	0	7	2	0	0	0	兼22 兼19		
専門展開科目	臨床応用心理学関連科目	臨床心理学Ⅰ	2前	2			1					オムニバス	
		臨床心理学Ⅱ	2後		2		1						
		人格心理学	4前		2								
		精神分析学	4後		2		1						
		芸術療法	3前		2		1						
	カウンセリング実践演習Ⅰ	2通	2			2							
	カウンセリング実践演習Ⅱ	3通		2		1	1						
	カウンセリング実践演習Ⅲ	4通		2		2							
	臨床応用心理学関連科目	認知行動療法	3後		2		1						
		子どものストレスマネジメント論	3後		2		1						
児童臨床心理学		2後	2			1							
思春期・青年期心理臨床		2後		2		1							
スクールカウンセリングと学校臨床		3後		2		1							
障害児臨床心理学	2前	2			1	1							
非行・犯罪と心理臨床	3前		2							兼1			
小計(15科目)		—	8	22	0	5	1	0	0	0	兼2		
ゼミナール	ゼミナールⅠ	2通	2			2	2					専任教員の追加(27) 担当 眞田 英進(教授) 平成26年7月 教員審査済 判定可	
	ゼミナールⅡ	3通	2			3	2						
卒業研究	卒業研究	4通	4			3	2						
小計(3科目)		—	8	0	0	5	2	0	0	0	兼0		
117 合計(115科目)		—	45	163 159	0	7 6	2	0	0	0	兼57 兼52 兼50		
学位又は称号		学士(臨床心理学)			学位又は学科の分野			文学関係、教育学・保育学関係					
卒業要件及び履修方法						授業期間等							
卒業単位124単位以上。共通教育科目必修12単位、選択科目より16単位以上修得(教養教育科目の選択科目より14単位以上選択必修。なお各分野より2単位以上を含むこと。また「英語」の選択科目若しくは「第二外国語」科目より2単位以上選択必修)。専門教育科目中、学部基幹科目必修2単位、学科基幹科目必修8単位修得。専門基礎科目より9単位以上修得(必修科目5単位を含む)。専門基幹科目・専門展開科目より69単位以上修得(必修科目10単位を含む)。ゼミナール・卒業研究必修8単位。(履修科目の登録の上限:46単位(年間))						1学年の学期区分		2学期					
						1学期の授業期間		15週					
						1時限の授業時間		90分					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
26	89		115	26	91		117	
				[]	[2]	[]	[2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 西九州大学 短期大学部 と共用			
	校舎敷地	37,683 m ²	14,833 m ²	0 m ²	52,516 m ²				
	運動場用地	18,813 m ²	8,264 m ²	0 m ²	27,077 m ²				
	小 計	56,496 m ²	23,097 m ²	0 m ²	79,593 m ²				
	そ の 他	49,832 m ²	3,336 m ²	0 m ²	53,168 m ²				
	合 計	106,328 m ²	26,433 m ²	0 m ²	132,761 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 西九州大学 短期大学部 と共用				
	(17,430 m ²)	(5,603 m ²)	(2,508 m ²)	(25,541 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	43室	106室	25室	4室 (補助職員 2人)	2室 (補助職員 1人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	子ども学部心理カウンセリング学科		8 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書 学術雑誌 注)の平成27年5月1日現在の数値を記載との指示により改めて記載した(H27)	
		子ども学部心理カウンセリング学科	11,798 [324] (10,628 [270]) (10,448 [269])	37 [9] (45 [14]) (30 [8])	7 [7] (3 [3]) (6 [6])	268 (324) (265)	1,794 52 1,764 (49)		0 (0)
	計	11,798 [324] (10,628 [270]) (10,448 [269])	37 [9] (45 [14]) (30 [8])	7 [7] (3 [3]) (6 [6])	268 (324) (265)	1,794 52 1,764 (49)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 改修工事のため座席数に変更があった(27)		
	1,568 m ²		230席 262席		155,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	2,680 m ²		第2体育館 587m ²	トレーニングセンター 242m ²	テニスコート 2面	弓道場 89m ²			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	申請学科 全体
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	5,000千円	1,500千円	1,500千円	
		共 同 研 究 費 等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	16,742千円 10,800千円	10,488千円 3,000千円	3,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,090千円	900千円	910千円	920千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、雑収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	西九州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員定員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院									
生活支援科学研究科									
健康栄養学専攻	2	2	—	4	修士 (健康栄養学)	0.25	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
地域生活支援学専攻	2	5	—	10	修士 (生活支援学)	0.80	平成27年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
臨床心理学専攻	2	4	—	8	修士 (臨床心理学)	1.50	平成26年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
リハビリテーション学専攻	2	3	—	6	修士 (リハビリテーション学)	1.83	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
子ども学専攻	2	4	—	8	修士 (子ども学)	0.75	平成27年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
地域生活支援学専攻	3	3	—	9	博士 (生活支援学)	2.00	平成27年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
健康栄養学部									
健康栄養学科	4	120	—	480	学士 (健康栄養学)	0.94	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
健康福祉学部									
社会福祉学科	4	80	3年次 10人	340	学士 (社会福祉学)	0.78	昭和49年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	※社会福祉学科 平成23年度～25年度 入学定員120名 平成26年度～ 入学定員80名
スポーツ健康福祉学科	4	50	—	200	学士 (スポーツ健康福祉学)	1.06	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
リハビリテーション学部									
リハビリテーション学科									
理学療法学専攻	4	40	—	160	学士 (理学療法学)	1.11	平成19年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
作業療法学専攻	4	40	—	160	学士 (作業療法学)	0.94	平成19年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
子ども学部									
子ども学科	4	80	3年次 10人	340	学士 (子ども学)	1.05	平成21年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
心理カウンセリング学科	4	40	—	160	学士 (臨床心理学)	1.22	平成26年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
大学の名称	西九州大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員定員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
食物栄養学科	2	60	—	120	短期大学士 (栄養学)	0.65	昭和38年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
生活福祉学科	2	40	—	80	短期大学士 (介護福祉学)	0.62	昭和39年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
幼児保育学科	2	90	—	180	短期大学士 (保育学)	0.99	昭和40年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<子ども学部 心理カウンセリング学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	長野 恵子	平成26年4月	心理学概論 心理学実験演習Ⅰ※ カウンセリング基礎演習 臨床心理観察実習 生涯発達心理学Ⅱ（成人期～高齢期） カウンセリング実践演習Ⅰ 子どものストレスマネジメント論 ゼミナールⅠ						
専	教授	古賀 靖之	平成26年4月	カウンセリング基礎演習 家族心理学 ※ 臨床心理観察実習 学習心理学 ※ 学校心理学 精神保健学 知的障害者の心理・生理・病理 ※ カウンセリング実践演習Ⅰ 認知行動療法	専任	教授	真田 英進	平成27年4月	知的障害者の心理・生理・病理 ※	専任教員の変更 (27) 平成26年7月 AC教員審査済 (27) 教育効果を考慮し、専任教員を変更予定。(26) 真田 英進教授教員審査 平成26年 月審査予定
専	教授	西村 喜文	平成26年4月	心理カウンセリング概論 心理学実験演習Ⅰ※ 生涯発達心理学Ⅰ（乳幼児期～青年期） 教育心理学 芸術療法 カウンセリング実践演習Ⅲ 児童臨床心理学 思春期・青年期心理臨床 ゼミナールⅡ 卒業研究						学生の移動を考慮し、神埼キャンパスで開講 (27)
専	教授	松田 次生	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎） 特別支援教育総論 視覚障害者教育総論 ゼミナールⅡ 卒業研究	専任	教授	真田 英進	平成27年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ（基礎）	専任教員の変更 (27) 平成26年7月 AC教員審査済 (27) 佐賀キャンパスで開講 (27) 神埼キャンパスで開講 (26) 専任教員の変更 (27) 平成26年7月 AC教員審査済 (27) 佐賀キャンパスで開講 (27) 神埼キャンパスで開講 (26)
専	教授	松田 次生	平成26年4月	特別支援教育総論	専任	教授	松田 次生	平成26年4月	特別支援教育総論 ※	平成26年7月 松田 次生教授、利光 恵准教授 AC教員審査済 (27)
				特別支援教育総論	兼任	講師	利光 恵	平成26年4月	特別支援教育総論 ※	利光 恵准教授教員審査 平成26年 月審査予定
				特別支援教育総論	兼任	講師	徳永 豊	平成26年4月	特別支援教育総論 ※	教育効果を考慮し、オムニ バス5名で担当。(26)
				特別支援教育総論	兼任	講師	深川 美砂子	平成26年4月	特別支援教育総論 ※	
				特別支援教育総論	兼任	講師	今村 亜子	平成26年4月	特別支援教育総論 ※	
専	教授	平川 忠敏	平成26年4月	心理学入門 家族心理学 ※ 心理学研究法 心理学検査法Ⅰ カウンセリング基礎演習 学習心理学 ※ コミュニティ心理学 カウンセリング実践演習Ⅲ						神埼キャンパスのみで開講 (26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	池田 久剛	平成26年4月	心理学実験演習Ⅰ※ 医療心理学 臨床心理学Ⅰ 臨床心理学Ⅱ 精神分析学 カウンセリング実践演習Ⅱ スクールカウンセリングと学校臨床 障害児臨床心理学※ ゼミナールⅡ 卒業研究						
					専任	教授	眞田 英進	平成27年4月	ゼミナールⅠ	教育効果を考慮し、専任教員の追加(27) 平成26年7月 AC教員審査済(27)
専	准教授	利光 恵	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ(基礎) あすなろう体験Ⅱ(実践) あすなろう体験Ⅲ(応用実践) 心理学実験演習Ⅱ 臨床心理観察実習 知的障害者教育総論 重複障害者教育総論 発達障害者教育総論 肢体不自由者の心理・生理・病理※ 病弱者の心理・生理・病理※ カウンセリング実践演習Ⅱ 障害児臨床心理学※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						佐賀キャンパスで開講(27) 神埼キャンパスで開講(26) 佐賀キャンパスで開講(27) 神埼キャンパスで開講(26)
					専任	教授	眞田 英進	平成27年4月	知的障害者教育総論	平成26年7月 AC教員審査済(27) 教育効果を考慮し、専任教員を変更予定。(26) 眞田 英進教授教員審査 平成26年 月審査予定
					兼任	講師	芳野 正昭	平成28年4月	重複障害者教育総論	教育効果を考慮し、兼任教員へ変更予定。(26)
					兼任	講師	徳永 豊	平成27年4月	肢体不自由者の心理・生理・病理※	教育効果を考慮し、兼任教員へ変更予定。(26)
					兼任	講師	大霧 香	平成27年4月	病弱者の心理・生理・病理※	教育効果を考慮し、兼任教員へ変更予定。(26)
専	准教授	青木 研作	平成26年4月	基礎演習あすなろう あすなろう体験Ⅰ(基礎) あすなろう体験Ⅱ(実践) あすなろう体験Ⅲ(応用実践) 子ども学総論※ 教育原論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						佐賀キャンパスで開講(27) 神埼キャンパスで開講(26) 佐賀キャンパスで開講(27) 神埼キャンパスで開講(26)
兼任	教授	井本 浩之	平成26年4月	現代社会と倫理 人間論と現代思想 倫理学概論 命の尊厳						神埼キャンパスのみで開講(26) 神園キャンパスのみで開講(26) 神園キャンパスのみで開講(26)
兼任	教授	Mark J. Hudson	平成26年4月	海外研修 人類学 子ども学総論※	兼任	教授	Mark J. Hudson	平成27年4月	留学準備演習 Introduction to Japan and Japanese Culture	平成27年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加(27) 平成27年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加(27) 神埼キャンパスのみで開講(26) 神園キャンパスのみで開講(26)
兼任	教授	酒井 出	平成26年4月	社会学入門 現代社会と家族機能	兼任	教授	酒井 出	平成27年4月	留学準備演習	平成27年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加(27) 神埼キャンパスのみで開講(26) 神園キャンパスのみで開講(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	香川 せつ子	平成26年4月	ジェンダー論 生涯学習論 子ども学総論 ※						神園キャンパスのみで開講 (26) 神園キャンパスのみで開講 (26) 神園キャンパスのみで開講 (26)
兼任	教授	高橋 忠夫	平成26年4月	生命のしくみ 生物と環境	兼任	講師	高橋 忠夫	平成26年4月	生命のしくみ 生物と環境	平成26年3月31日に本学を退職。 退職後も非常勤講師として継続担当いただく。 (26)
兼任	教授	馬場 佐和子	平成26年4月	総合英語 I 総合英語 II 英語表現 I 英語表現 II 上級英語 II	兼任	教授	馬場 佐和子	平成26年4月	総合英語 I 総合英語 II 英語表現 I 英語表現 II	馬場佐和子教授が平成26年3月31日に本学を退職されたため。 上級英語 I については渡邊真理子准教授が担当予定である。(26)
兼任	教授	赤星 まゆみ	平成26年4月	子ども学総論 ※	兼任	教授	赤星 まゆみ	平成26年4月	子ども学総論 ※	担当者割変更により担当者1名減 (26)
兼任	准教授	田平 隆行	平成26年4月	脳と認知科学 ※						
兼任	准教授	上赤 博文	平成26年4月	地球環境科学 子ども学総論 ※	兼任	講師	小倉 啓生	平成27年4月	地球環境科学 子ども学総論 ※	平成27年3月上赤准教授退職のため平成27年度より担当者変更 (27) 神園キャンパスのみで開講 (26) 平成27年3月上赤准教授退職のため平成27年度より担当者変更 (27) 神園キャンパスのみで開講 (26)
兼任	准教授	渡邊 真理子	平成26年4月	総合英語 I 総合英語 II 英語表現 I 英語表現 II 上級英語 I	兼任	准教授	渡邊 真理子	平成27年4月	留学準備演習	平成27年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
				総合英語 I	兼任	講師	大城 綾子	平成26年4月	総合英語 I	他学部他学科とのクラス分けの運用により平成27年度は担当しない。(27) 他学部他学科とのクラス分けの運用により、平成26年度は大城非常勤講師が担当する。 神園キャンパスのみで開講 (26)
				総合英語 II	兼任	講師	幸山 智子	平成27年4月	総合英語 I	他学部他学科とのクラス分けの運用により、平成27年度は幸山非常勤講師が担当する (27) 神園キャンパスのみで開講 (26)
				英語表現 I	兼任	講師	矢ヶ部 あかり	平成27年4月	総合英語 II	他学部他学科とのクラス分けの運用により、平成27年度は矢ヶ部非常勤講師が担当する (27) 佐賀キャンパスのみで開講 (27)
				英語表現 II	兼任	講師	大城 綾子	平成27年4月	英語表現 I	他学部他学科とのクラス分けの運用により、平成27年度は大城非常勤講師が担当する (27) 神園キャンパスのみで開講 (26)
				上級英語 I	兼任	講師	金城 智子	平成27年4月	英語表現 II	他学部他学科とのクラス分けの運用により、平成27年度は金城非常勤講師が担当する 佐賀キャンパスのみで開講 (27)
兼任	講師	中山 正教	平成26年4月	健康・スポーツ科学	兼任	教授	菅原 正志	平成26年4月	健康・スポーツ科学	兼任教員の変更 (26)
				健康・スポーツ科学	兼任	講師	池田 知子	平成27年4月	健康・スポーツ科学	兼任教員より兼任教員へ変更 (27)
兼任	教授	菅原 正志	平成26年4月	フィットネス・スポーツ ウェルネス・スポーツ	兼任	講師	池田 知子	平成27年4月	フィットネス・スポーツ	兼任教員より兼任教員へ変更 (27)
				子ども学総論 ※ 家庭支援論	兼任	講師	池田 知子	平成27年4月	ウェルネス・スポーツ	兼任教員より兼任教員へ変更 (27)
兼任	准教授	田中 麻里	平成26年4月	子ども学総論 ※ 家庭支援論						
兼任	准教授	田代 勝良	平成26年4月	児童家庭福祉	兼任	講師	田代 勝良	平成26年4月	児童家庭福祉	平成26年3月31日に本学を退職。 退職後も非常勤講師として継続担当いただく。 (26)
兼任	講師	岡部 由紀夫	平成26年4月	少子高齢化社会と人間	兼任	教授	田中 豊治	平成27年4月	少子高齢化社会と人間	兼任教員の変更 (27)
兼任	助教	高元 宗一郎	平成26年4月	情報処理基礎	兼任	講師	桑原 雅臣	平成26年4月	情報処理基礎	兼任教員より兼任教員へ変更 (26)
兼任	教授	倉田 康路	平成26年4月	社会福祉学						
兼任	講師	濱田 隆	平成26年4月	文学と言語						
兼任	講師	末寄 雅美	平成26年4月	生涯学習論	兼任	講師	末寄 雅美	平成26年4月	生涯学習論	香川教授と2講義開講予定であったが、神園キャンパスの末寄非常勤講師の講義は開講しない。 (26)
兼任	講師	川副 義敦	平成26年4月	人間の歴史						
兼任	講師	西本 加奈	平成26年4月	脳と認知科学 ※	兼任	講師	長谷川 隆史	平成26年4月	脳と認知科学 ※	西本非常勤講師辞退のため。(26)
兼任	講師	山田 麻和	平成26年4月	脳と認知科学 ※	兼任	教授	小浦 誠吾	平成27年4月	脳と認知科学 ※	平成27年3月山田非常勤講師辞任のため平成27年度より担当者変更 (27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	荒木 雪葉	平成26年4月	異文化理解 中国語（初級） 中国語（中級） 宗教学概論						神埼キャンパスのみで開講（26） 神埼キャンパスのみで開講（26） 神埼キャンパスのみで開講（26）
兼任	講師	平 誠一	平成26年4月	法学 日本国憲法 法律学概論						神埼キャンパスのみで開講（26） 神園キャンパスのみで開講（26） 神埼キャンパスのみで開講（26）
兼任	講師	権藤 幸憲	平成26年4月	くらしと経済 経済学概論						神埼キャンパスのみで開講（26）
兼任	講師	田端 正明	平成26年4月	化学入門	兼任	教授	安田 みどり	平成27年4月	化学入門	平成27年3月田端兼任講師辞任のため平成27年度より担当者変更（27） 神埼キャンパスのみで開講（26）
兼任	講師	上山 和俊	平成26年4月	統計学の基礎						神埼キャンパスのみで開講（26）
兼任	講師	福井 市男	平成26年4月	物理学入門						神埼キャンパスのみで開講（26）
兼任	講師	雨森 未来	平成26年4月	総合英語Ⅰ	兼任	講師	雨森 未来	平成26年4月	総合英語Ⅰ	他学部他学科とのクラス分けの運用により平成26年度は担当しない。（26）
				総合英語Ⅱ	兼任	講師	雨森 未来	平成26年4月	総合英語Ⅱ	他学部他学科とのクラス分けの運用により平成27年度は担当しない。（27）
				英語表現Ⅰ	兼任	講師	雨森 未来	平成26年4月	英語表現Ⅰ	他学部他学科とのクラス分けの運用により平成26年度は担当しない。（26）
				英語表現Ⅱ	兼任	講師	雨森 未来	平成26年4月	英語表現Ⅱ	他学部他学科とのクラス分けの運用により平成27年度は担当しない。（27）
兼任	講師	園部 ニコル	平成26年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	兼任	講師	園部 ニコル	平成27年4月	留学準備演習 Introduction to Japan and Japanese Culture	平成27年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加（27） 平成27年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加（27）
							園部 ニコル	平成26年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	平成26年4月1日健康栄養学部健康栄養学科専任講師に就任 神埼キャンパスで開講（26）
					兼任	講師	ガレス ニューボード	平成26年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	教育効果を考慮し、2名の教員によるクラス分けで開講する。 神埼キャンパスで開講（26）
兼任	講師	日高 雅彦	平成26年4月	ドイツ語（初級） ドイツ語（中級）						
兼任	講師	前川 完	平成26年4月	フランス語（初級） フランス語（中級）						
兼任	講師	文 芝瑛	平成26年4月	韓国語（初級） 韓国語（中級）						
兼任	講師	円城寺 しづか	平成26年4月	子ども学総論 ※						
兼任	講師	平田 孝治	平成26年4月	子ども学総論 ※						
兼任	講師	岡嶋 一郎	平成26年4月	心理学統計法						
兼任	講師	吉岡 和子	平成26年4月	心理学検査法Ⅱ 人格心理学						
兼任	講師	蘭 悠久	平成26年4月	知覚心理学						
兼任	講師	今村 義臣	平成26年4月	認知心理学						
兼任	講師	池田 行伸	平成26年4月	神経心理学						
兼任	講師	蘭 千壽	平成26年4月	集団心理学 対人関係論						
兼任	講師	山田 真理子	平成26年4月	乳幼児心理学						
兼任	講師	吉村 春生	平成26年4月	教育相談						
兼任	講師	胸元 孝夫	平成26年4月	精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ						
兼任	講師	久野 建夫	平成26年4月	知的障害者の心理・生理・病理 ※ 肢体不自由者の心理・生理・病理 ※ 病弱者の心理・生理・病理 ※						
兼任	講師	今村 亜子	平成26年4月	聴覚障害者の言語障害指導						
兼任	講師	土井 幸治	平成26年4月	学校ソーシャルワーク						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	畑山 敏夫	平成26年4月	政治学概論						
兼任	教授	田中 豊治	平成26年4月	社会学概論	兼任	教授	田中 豊治	平成27年4月	留学準備演習	平成27年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
兼任	講師	日高 みちえ	平成26年4月	非行・犯罪と心理臨床						
					兼任	教授	柳田 晃良	平成27年4月	留学準備演習 Introduction to Japan and Japanese Culture	平成27年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加(27) 平成27年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
					兼任	講師	青山 真美	平成27年4月	Introduction to Japan and Japanese Culture	平成27年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
					兼任	講師	福元 健志	平成27年4月	Introduction to Japan and Japanese Culture	平成27年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加(27)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

- を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
6	2	0	0	8	7	2	0	0	9	教授:68歳 准教授:65歳 その他の教育職員:60歳	2	教授:68歳 准教授:65歳 その他の教育職員:60歳	0
(6)	(2)	(0)	(0)	(8)	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>設 置 時 (平成26年4月)</p>	<p>1. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	<p>1. 本学科では、完成年度を迎えるまでに定年を超える者が含まれるが、就業規則の附則に定年延長（教育職員5年）の措置を講じており、当該教員は完成年度まで雇用を確保している。また、西九州大学中期計画に基づくアクションプログラムの中で、若手教員採用の人事計画の策定と実行が出来るよう計画を立てている（平成28年度より）。</p> <p>(H26)</p> <p>1. 完成年度前に退職年齢を超える専任教員については、就業規則の附則にある定年延長（教育職員5年）の措置を適用し、完成年度まで雇用を確保している。その後の教員組織の再編成へ向け、西九州大学中期目標・中期計画（平成26年度～29年度）において、「効果的な人事計画の推進」の目標を設定し、平成28・29年度の2年間で「若手教員採用のための人事計画の策定と実行」を学科のアクションプログラムとして達成するよう計画している。</p> <p>(H27)</p>	
	<p>・卒業後の進路の見通しに関する調査結果を踏まえると、本学科で養成する人材の需要が十分であるとは見受けられないことから、学生の就職先について開設後も引き続き開拓に努めることが望ましい。</p>	<p>・学生支援課と連携しながら学生の就職先の開拓を強力に推進するため、4月に就職担当の学生支援委員を任命し進路・就職支援体制の強化を図った。</p> <p>(H26)</p> <p>・就職担当の学生支援課との協力のもと、県内外の就職先候補を抽出した。平成27年度に就職開拓のための訪問活動を教員も含めて実施予定。このために、本年度学科予算の中に活動費を計上している。</p> <p>(H27)</p>	

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<p>・学科名称や学位名称に「カウンセリング」や「臨床心理」を用いているため、学科・学位名称にふさわしい教育課程となるよう、臨床心理に関する授業科目及び臨床心理を専門とした教員をさらに充実することが望ましい。</p>	<p>・臨床心理学に関する充実した教育課程になるよう、26年度のアクションプログラムの中にカリキュラムマップの整備に向けて取り組みを開始した。 (H26)</p> <p>・教育課程の充実へ向けて学士力到達度を測るためのカリキュラムマップの整備と到達度の可視化をはかった。このなかからさらに必要とされる授業科目について検討をしている。教員の充実に向けては中期目標・中期計画のなかで人事計画を策定し実行を計る。 (H27)</p>	
	<p>・学部名称からは、「子どもと彼らを取り巻く人々のこころ」を対象としている構想内容がわかりにくいものとなっていることから、受験生等関係者に誤解を与えないよう適切に周知することが望ましい。</p>	<p>・心理カウンセリング学科独自の学科報（0号発行、1号は印刷中）及び大学案内、パンフレットに心理カウンセリング学科の教育理念等の構想を明記し、心理カウンセリング学科について周知させている。 (H26)</p> <p>・受験生等関係者への周知のために、大学案内、パンフレット、学科報1号を発行し、学科の特徴、教育内容を解説している。高校訪問、オープンキャンパス等での配布を行うと共に、大学ホームページでも閲覧公表している。 (H27)</p>	

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年5月)	既設学部等(西九州大学短期大学部食物栄養学科)の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	<p>本学科の特徴をより広く進学者や地域社会にアピールする為に下記の独自募集活動を通して改善に努めている。</p> <p>①学科活動の広報及び栄養士の魅力を伝える進路ガイダンス資料を直接高校に持参し、家政系担当教諭と高校生への対面説明を行う事で、具体的な志願勧奨を実施し手応えを得ている。</p> <p>②進学対象者に本学科の教育研究活動を直に見てもらう目的で「キャンパスレビュー(公開授業参加型)」を複数回実施し参加者から高い評価を得ている。</p> <p>③地域の複数自治体との包括的連携協定締結の下に、各種の食育支援・普及活動(食農臨地体験学習や地産地消型学生レストランの開設、他)を実施し、産学官が協調して効果的な広報活動を進め良好な反応を得ている。 (H27)</p> <p>①高校及び生徒達が真に必要なとする情報を精査し、担当教諭と志願者に対して直接アピールができる募集広報と学校訪問活動を進め、学生確保の手法改善を図る計画である。</p> <p>②現在の高校対象「キャンパスレビュー」を一般地域社会層にも拡張し、本学科教員と在學生と高校生及び地域の老若男女全ての人が協働参画できる重層かつ有機的な企画のキャンパスイベントの仕組みを創り出し、本学科の効果的認知度アップを図る事により入学者増に繋げる計画である。</p> <p>③平成29年度新設を目標に、現在本短大部学科改組設置申請の学内準備を既に組織的に進めている。当学科主幹資格である栄養士と介護福祉士両養成部門を単学科として統合し、地域への生活支援を科学的視点から複合的にサポートできる地域課題解決型の人材養成を行う新規教育課程として再編する。更にこれに加えて、ホスピタリティ・観光・地域文化をキーワードに、海外相互留学生制度も取り入れたグローバルな新学科の誕生を目指す事によって新たな学生確保及び職域の開拓を行う計画である。 (H27)</p>

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<子ども学部 心理カウンセリング学科>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>西九州大学ファカルティ・ディベロップメント委員会を置き、FD活動を実施している。 ※西九州大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程を添付</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度は6、7、8、10、12月及び2月に開催。平成27年4月開催。 ・副学長が委員長、各学部教員17人、事務局長1人の委員構成。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期目標・中期計画に基づくアクションプログラムの26年度活動状況の確認と27年度活動計画について ・FD研修会の開催について ・教育研究活動の活性化について <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「戦略経営の確立に向けた改革～教学マネジメントと教学IR～」 (西九州大学・短期大学部合同FD研修会) 2) 「アクティブラーニングスタジオの利活用について」 (西九州大学・短期大学部並びに他大学との合同FD研修会) 3) 「シラバスの作成並びに電子登録について」 (西九州大学・短期大学部合同FD研修会) 4) 「大学グローバル化に向けた英語教育のあり方について—実践事例から—」 (西九州大学・短期大学部合同FD研修会) <p>b 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 講演会形式 2) 講演会及びグループ研修形式 3) 講演会及びグループ研修形式 4) 講演会形式 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成26年8月20日開催。大学専任教員47名、短大専任教員17名、職員8名参加、計72名。 2) 平成26年11月20日開催。大学専任教員70名、短大専任教員12名、他大学教職員12名参加、計105名。

3) 平成26年12月24日・12月25日・平成27年1月7日・1月8日開催。
大学専任教員69名、短大専任教員24名、職員14名、非常勤講師5名参加、計112名。

4) 平成27年2月16日開催。大学専任教員9名、短大専任教員職員3名、職員2名参加、計14名。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1) エンロールメントマネジメントの視点から各授業科目の位置づけを再考することに反映させている。

2) アクティブラーニングスタジオの利活用について理解を深め、教室の有効活用、実際の授業での利活用を推進している。

3) シラバスへの授業外学修、能力・観点別評価の明記を徹底するとともに、履修系統・順序を意識できるようカリキュラムチェックリストと連動するシステムを整備した。

4) 本学英語教育を実践的なツールとしての英語教育へと展開させ、グローバル化に対応できる人材養成に資するカリキュラムとするための研修を行った。本プログラムを27年度中に試行すべく計画している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

後期の中間に記述式（後期11月）のみを1回と前期と後期の学期末にマークシート式と記述式（前期7月、後期1月）を1回実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員の集計結果について当該教員へ紙面にて周知するとともに、学生も閲覧できるよう「学生による授業評価アンケートに関する報告書」を図書館で公開。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
別紙のとおり
- ② 自己点検・評価報告書
 - ・平成26～29年度対象の第3次中期目標・中期計画を作成し、また毎年度にアクションプログラムを作成している。
 - a 公表（予定）時期
 - ・平成29年6月 公表（予定）
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定（平成29年6月末を予定）
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成29年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表の有無 (有)
 - b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ()

別紙

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 心理カウンセリング学科は、平成26年4月に開設し、入学定員40名に対して1年目は48名、2年目にあたる平成27年4月には50名の入学生を受け入れ、設置計画通りのカリキュラムに沿った授業を開講している。

開設2年目からは大学入試センターを利用した入学試験を実施したこともあり受験者が増加したが、今後も十分な定員確保が維持できるように努めていきたい。

2. 教員組織については、設置計画通り平成27年4月からは9名の専任教員（教授7名、准教授2名）で授業を実施している。月1回の定例学科会議に加え、毎週1回の学科ミーティングにおいて、学生の動向把握、学科行事企画、大学の委員会活動や管理運営に関する教員間の共通理解を深めている。また、月1回の定例子ども学部教授会において、子ども学科との連携、学部運営について協議を行っている。

3. 授業の開講状況については、毎週水曜日、木曜日に神埼キャンパス（12km、シャトルバスで運行）において共通教育科目を開講し、月曜日、火曜日、金曜日に佐賀キャンパスで授業を開講している。

また、平成27年3月末に、教員研究室が設置計画通りに佐賀キャンパスに新設された。これに伴い、共通教育科目「基礎演習あすなろう」「あすなろう体験Ⅰ」は、平成27年4月より佐賀キャンパスで開講し、学生指導についてもより充実した体制が整った。

4. 施設、設備の整備状況においては、平成26年2月に新設された講義室4室に加え、平成27年4月からは鉄筋コンクリート5階建ての新5号館が使用可能となった。講義室、演習室、中講義室（アクティブラーニング教室）が整備された。アクティブラーニング教室には、組み合わせによってグループ規模を変えることができる可動式のテーブルと椅子、多方向プロジェクター、可動式ホワイトボードを備え、講義、演習で多用している。また、設置計画通り、新5号館5階には教員研究室、事務補助職員が常駐する総合研究室を配置し、学生に対するきめ細やかな支援、指導を行っている。

設置の趣旨・目的の達成状況については、これまでのところ設置計画通りに達成されていると考える。今後も子ども学科および既存の学部と連携を図りながら目的達成へ向け専任教員を中心として努力していきたい。

西九州大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程

(趣旨)

第1条 西九州大学(以下「本学」という。)のファカルティ・ディベロップメント委員会(以下「委員会」という。)に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 委員会は、本学の教育の理念・目標及び教育内容・方法に関する組織的な研究、研修の円滑な実施を図ることを目的とする。

(業務)

第3条 委員会は、前条に掲げる目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 定期的なファカルティ・ディベロップメント講演会、研修会等の企画及び実施に関すること。
- (2) その他本学のファカルティ・ディベロップメントに関すること。

(組織)

第4条 委員会は次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 副学長
- (2) 生活支援科学研究科長
- (3) 各学部長
- (4) 教務部長
- (5) 教務部副部長
- (6) 各学科から選出された専任教員2人
- (7) 事務局長

(任期)

第5条 前条第6号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

- 2 前条第6号の委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第6条 委員会には委員長を置き、委員長は副学長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代行する。

(会議の開催及び議決)

第7条 委員会は、委員長が必要と認めたとき、又は過半数の委員から要請があったときに、委員長が招集する。

- 2 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(委員以外の出席)

第8条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(専門委員会)

第9条 事業を円滑に遂行するために、委員会が必要と認めたときは専門委員会を置くことができる。

- 2 委員会が必要と認めた時は、専門委員会に委員以外の者を加えることができる。

(事務局)

第10条 委員会に関する事務は、教務課において処理する。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則 (平成21年7月16日 制定)

- 1 この規程は、平成21年7月16日から施行し、平成21年4月1日から適用する。
- 2 この規程施行後、最初に委嘱される第4条第1項第5号に規定する委員の任期は、第5条第1項の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。

附 則 (平成24年5月17日)

この規程は、平成24年5月17日から施行し、平成24年4月1日から適用する。

附 則 (平成26年3月6日)

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 社会福祉学科、スポーツ健康福祉学科及び心理カウンセリング学科の委員は、第4条第1項第6号の規定にかかわらず当分の間1人とする。

附 則 (平成27年2月12日)

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。